

# 雑がみの出し方の例

2020.01 現在

もやせるごみの中には、資源になる雑がみ（紙類）が多く含まれています。パンフレットやお菓子の包装紙などは、雑がみ（資源ごみ）としてごみステーションに出すことができ、もやせるごみの減量化になります。※雨の日にはできるだけ次回の収集日に出してください。

- 雑誌と一緒にひもで縛って出す以外に、写真のように紙袋に入れて、ひもで縛って出すこともできます。
- 小さな紙切れやはがきは雑誌の間に挟んで出すこともできます。



## 雑がみの例

- ティッシュ箱（取出し口のビニールを除いたもの）
- 菓子箱
- 靴の箱や薬の箱
- 画用紙や模造紙
- 包装紙
- 名刺
- メモ用紙
- プリント
- 封筒（窓部分のフィルムを除いたもの）
- チラシやダイレクトメール
- 年賀状（写真印刷用のものでないもの）
- パンフレット
- ノート
- カレンダーやポスター
- ラップやトイレットペーパーの芯
- 紙製のファイル（金属、プラスチックを除いたもの）
- 紙袋や米袋
- 雑誌



**箱状の紙は開いてください**

※個人情報の部分は切り取ってください。

※新聞、段ボール、紙パックは一緒にせず、「雑誌類（雑誌）」の分類で、収集日に出してください。（収集日等は、ごみ分別収集カレンダーでご確認ください。）